

諸外国語アプリケーション科目 先取り履修 申請チェックシート

諸外国語アプリケーション科目は、本来、SA から帰国した後の学生が語学力をさらに伸ばす場として設けられている科目ですが、1～2年生でも受講にふさわしい力を備えた学生に先取り履修を認めています。諸外国語アプリケーション科目の先取り履修を希望する1～2年生は、次の説明を良く読んで申請してください。

1. あなたは次の外部語学検定試験の級やスコア（あるいは下記よりも高い級やスコア）をどれか1つ、すでに持っていますか？

ドイツ語	独検 3 級、SD 2、FD 2	ロシア語	ロシア語能力検定 3 級、ТРКИ-БУ
フランス語	仏検 3 級、DELF A1、TCF100-199、TEF 69-203	中国語	新 HSK4 級
スペイン語	DELE B1	朝鮮語	ハングル検定3 級

Yes → 2. に進んでください。

No → 諸外国語アプリケーション科目 先取り履修 の受講資格がありません。

2. SA担当の先生に先取り履修を行うことについて相談済みですか？

Yes → 3. に進んでください。

No → まずはSA担当教員に相談してください。

担当教員や教員連絡先が不明な場合は、学部窓口で確認してください。

3. 先取り履修したいアプリケーション授業（英語、情報除く）の曜日と時限、教室、担当の先生は分かっていますか？

Yes → 4. に進んでください。

No → 国際文化学部のシラバス（講義概要）と時間割を見て調べてください。

4. 先取り履修したいアプリケーション授業の初回授業に出席しましたか？

Yes → 自分がついていけるレベルか先生と相談した上で、5. に進んでください。

No → 第2回の授業に必ず出席してください。第3回以降では遅すぎるので先取り履修を許可できません。

5. ①自分の名前、②学生証番号、③持っている外部語学検定試験の級やスコア、④先取り履修したいアプリケーション授業の曜日と時限、⑤アプリケーション授業担当の先生の名前、を明記して、アプリケーション授業の先取り履修の受講許可書を書いてくださいと依頼するメールをSA担当教員に送りましたか？

Yes → 受講許可書をSA担当教員に書いてもらった上で、6. に進んでください。

No → 上の①～⑤を明記したメールをSA担当教員に送ってください。

6. ⑦外部語学検定試験の級やスコアを証明する書類（提出の時点で有効なもの・コピー不可）

④SA担当教員に書いてもらった受講許可書

を学部事務窓口に提出してください。

※提出期限は学部ホームページ等でお知らせします。⑦の書類は、内容確認後返却します。